

■ 東日本大震災復興支援商品の継続

当社は、2011年3月に発生した東日本大震災で被災された方々を支援するための復興支援商品「カンピーファミリーサイズジャム」を2011年6月から製造・販売してまいりました。

震災被害が過去に例を見ない甚大なものであり、今後も東日本大震災の記憶を風化させることなく、継続した被災地の支援を行いたいとの思いから、復興支援を継続することにいたしました。

被災地のさらなる復興を願い、当商品をご購入いただいたお客さまの気持ちと義援金をお預かりし、被災地の窓口を通じてお届けいたします。これからも被災された皆さまのお役に立てるように全力で取り組んでまいります。

復興支援商品の概要はホームページでご覧いただけます。
<http://www.katosangyo.co.jp/news/000262.html>



カンピーファミリーサイズジャム
 (1商品あたり、3円の義援金)
 2015年9月25日製造分まで

株主優待

9月末日(決算期末)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上所有される株主さま1名につき、当社オリジナル製品「GREEN WOOD手造りジャム」1セットを贈呈いたします(12月初旬発送予定)。家庭でつくるように、果実を糖と果汁のみで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

●所有株式数100株以上

詰め合わせ例※

- いちごジャム(320g)
- ブルーベリージャム(330g)
- オレンジマーマレード(330g)

2,200円相当

※詰め合わせの内容は変更させていただきます場合があります。



●所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
 - ブルーベリージャム
- (各530g)

3,230円相当



第68期 報告書

平成25年10月1日から平成26年9月30日まで

トップメッセージ	1
長期ビジョン	2
事業内容	3
連結決算概要	4
主要な事業の概況	5
連結財務・業績ハイライト	6
ニュース・クローズアップ	7
CSRへの取り組み	9
連結財務諸表	11
個別財務諸表	12
会社情報	13
株式情報/株主メモ	14



加藤産業株式会社

証券コード: 9869

<http://www.katosangyo.co.jp/>



UD FONT
 見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。



証券コード: 9869



JQA-EM4237

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第68期における食品流通業界は、国内の雇用情勢、所得環境の一部で明るさが見られるものの、平成26年4月からの消費税増税による負担増に加えて、円安・原材料価格高騰による商品等の値上げにより、個人の消費マインドに生活防衛意識が継続する中で、企業間競争は一層激化し、景気回復・円安によるコスト増も加わり、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした中において加藤産業グループは、卸売業としての基本機能である営業と物流が連携をとりながら総合力を発揮し、提案型営業を通じてお取引先さまとの関係強化を推進するとともに、商品や売場の価値を提供することで、皆さまの豊かな食生活の実現に向けて、流通全体の最適化を目指していく所存であります。

さらに、今後は海外事業を加藤産業グループの成長戦略の一つとして位置付け、今まで培ってきた日本式卸のビジネスモデルやノウハウを活かして事業を拡大し、より存在価値の高い企業を目指して一歩一歩成長を続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



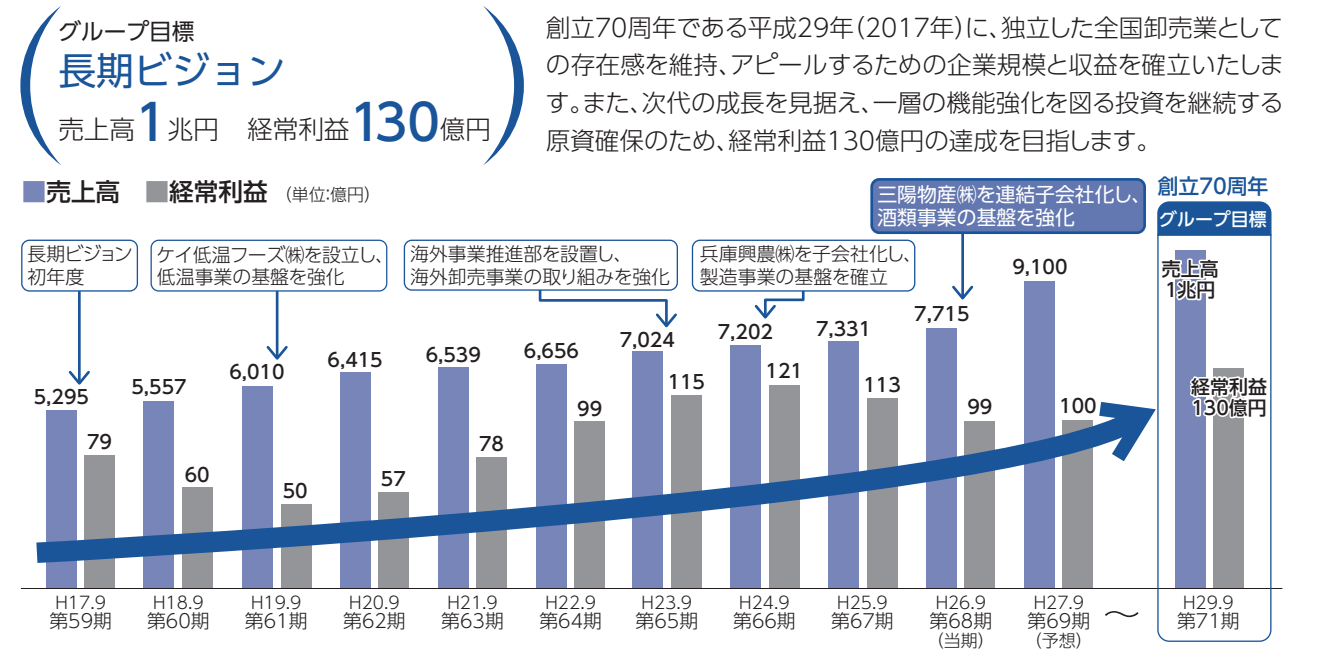
代表取締役社長 加藤 和弥

社 是

能力を啓発し機能を充実し
生販両層にとって最も価値
ある存在として周囲の人々の
生活を豊かに実らせ 其處に
社会性を有する企業として
永遠の発展を礎きあげる。

長期ビジョンとその達成のために

私たち加藤産業グループでは、今の時代に最も求められる企業像「強くて優しい会社」の実現を目指し、具体的な施策を盛り込んだ中長期的な戦略を進めています。この計画の一つひとつを確実に遂行することによって、さらに成長し続けます。



KATO 加藤産業グループ

卸売業

- ケイ低温フーズ(株)
- 三陽物産(株)
- ヤタニ酒販(株)
- 九州加藤(株)
- カトー菓子(株)
- エス・エイ・エスジャパン(株)
- カトー酒販(株)
- カトー農産(株)

- 【海外】
- Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.
 - 上海翱杰実業有限公司

物流

- マンナ運輸(株)
- 沖縄ロジスティクス(株)
- カトーロジスティクス(株)

メーカー

- 和歌山産業(株)
- 兵庫興農(株)

外食

- (株)アドバンス・キッチン

その他

- 加藤不動産(株)
- 加藤SCアジアインベストメント(株)



プライベートブランド

Private Brand

消費者や小売店さまの多様なニーズにお応えするために、独自で商品の開発・製造・輸入を行っております。

お客さまの買いたい商品を取り揃える商品調達力

(マーチャンダイジング)

Merchandising

総合食品卸売業として、4,000社を超えるメーカーさまと取引をし、幅広い品揃えの商品を小売店さまに卸しております。

適切な時に適切なものを運ぶ物流システム

(ロジスティクス)

Logistics

高度な物流技術で、必要な時に必要なものを必要な量だけ小売店さまにお届けしております。

お客さまのニーズにあわせた売り方や商品陳列を行う売場計画力

(リテールサポート)

Retail Support

消費者のトレンドに基づいて小売店さまの売場計画を立て、実行する。こうしたきめ細かい売場づくりのサポートをしております。



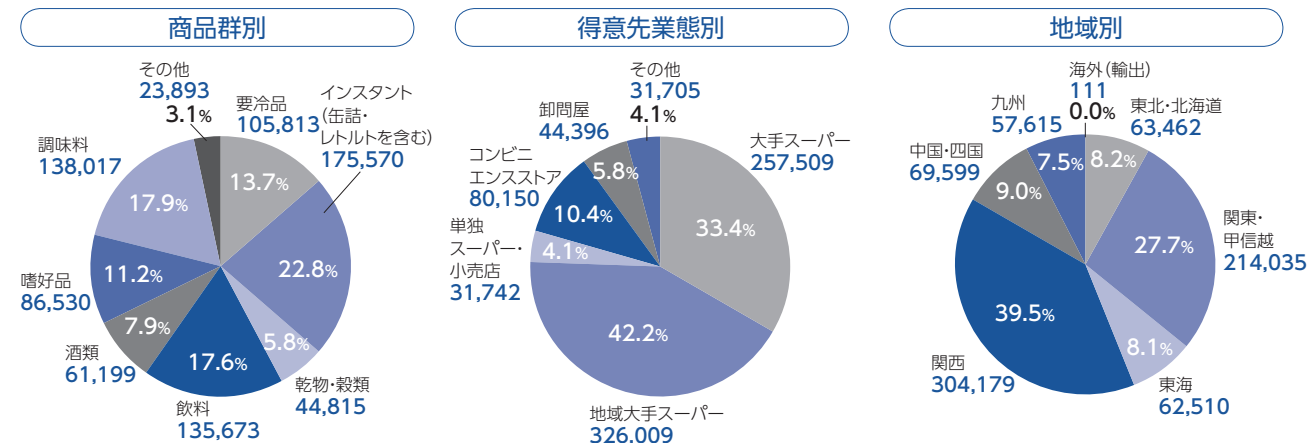
連結売上高 7,715億14百万円
 連結経常利益 99億97百万円

提案型営業を積極的に推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一つひとつ積み重ねることで、卸売業の役割である「つなぎ」を推進するとともに、諸経費の抑制及び業務の生産性向上等のローコストオペレーションによる経営の合理化に努めてまいりました。

	前期	前期比	来期(第69期) 予想	前期比
売上高	7,715億14百万円	5.2%増加	9,100億00百万円	17.9%増加
営業利益	89億89百万円	12.8%減少	91億00百万円	1.2%増加
経常利益	99億97百万円	12.0%減少	100億50百万円	0.5%増加
当期純利益	57億81百万円	18.0%減少	62億00百万円	7.2%増加

※来期(第69期) 予想には、平成26年6月に連結子会社化した三陽物産(株)の業績予想が含まれております。

売上高構成 (単位:百万円)



主要な事業の概況

Segment Review

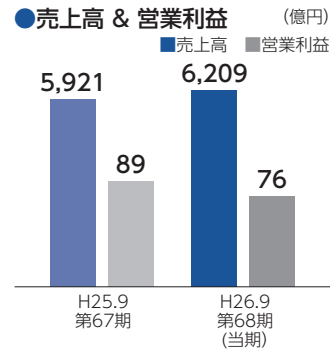
常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)

売上高 **6,209億47**百万円

前期比**4.9%**増加

営業利益 **76億86**百万円

前期比**14.0%**減少



当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、多様化する消費者の需要に対応すべく、提案型営業を積極的に推進し、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化するとともに、自社PB商品の開発及び拡売を図りましたが、小売業の業態を越えた企業間競争等により、事業を取り巻く環境は厳しく営業利益は減益となりました。

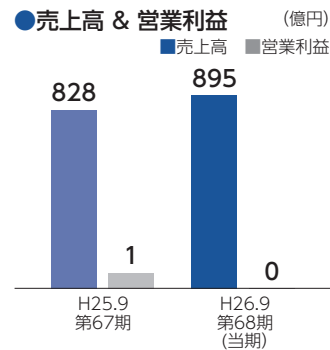
低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)

売上高 **895億22**百万円

前期比**8.1%**増加

営業利益 **70**百万円

前期比**63.3%**減少



低温流通事業につきましては、消費税増税により日常的に消費する食品に対する消費者の節約志向がさらに高まり、また、景気回復に伴う物流コストの増加も加わり、厳しい事業環境が続いており、主軸であるチルド・日配食品の販売拡大に取り組んだものの、営業利益は減益となりました。

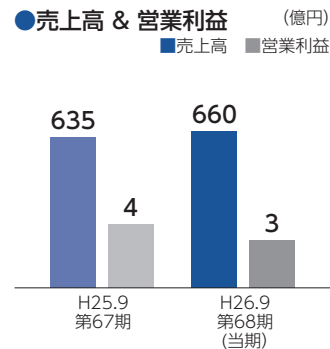
酒類流通事業

売上高 **660億27**百万円

前期比**3.8%**増加

営業利益 **3億65**百万円

前期比**22.1%**減少

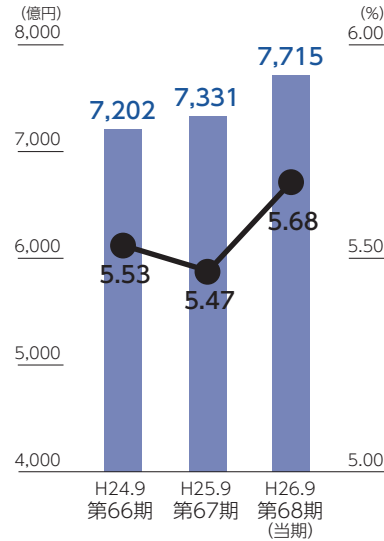


酒類流通事業につきましては、少子高齢化に伴う飲酒人口の減少や、若者層のアルコール離れが依然続いておりますが、小容量で価格と価値を伴った上級化や上質化商品への需要も見られ、価格と品質面での二極化傾向が生じ、消費税増税後の需要は緩やかに回復しつつあるものの、市場環境は縮小傾向が推移している中で引き続きより一層の営業力の強化に取り組みましたが、営業利益は減益となりました。

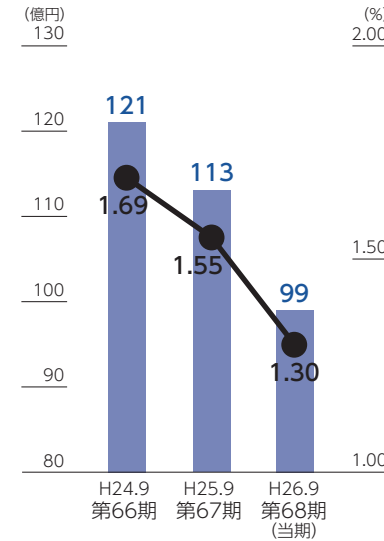
連結財務・業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights

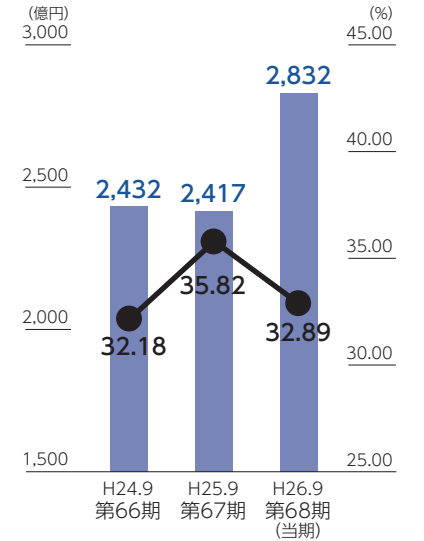
売上高 & 販売管理費率



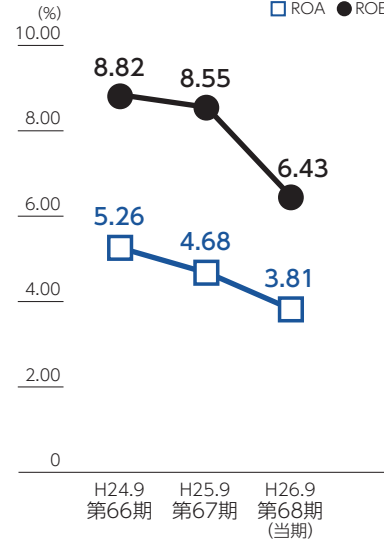
経常利益 & 経常利益率



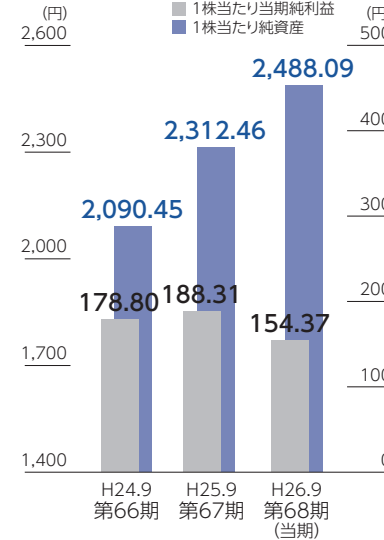
総資産 & 自己資本比率



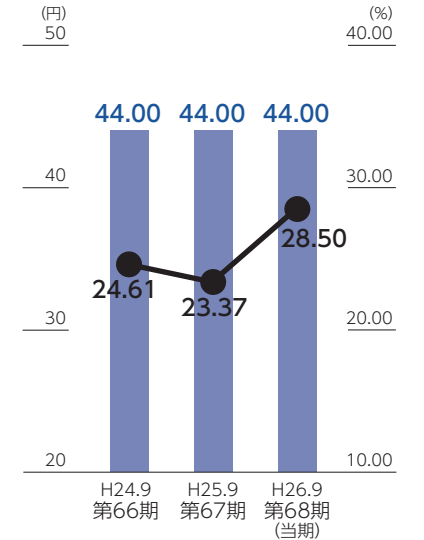
ROA & ROE



1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



1株当たり配当金 & 配当性向



5 ※上記の売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。

グループ力の強化

● 三陽物産(株)を連結子会社化

当社は、2014年6月に三陽物産(株)の株式を追加取得し、同社が連結子会社となりました。

当社と三陽物産(株)は、2002年9月に資本業務提携を行い、お互いに協力して酒類・食品業界における卸売機能の充実とサービスの向上に取り組んでまいりました。今般、両社の関係をさらに深めることにより事業の協力関係を一層緊密化し、三陽物産(株)のさらなる機能強化および業容拡大を進めるとともに、グループとして酒類カテゴリーの拡充を図り、競争力をより強化してまいります。

【会社の概要】

社名：三陽物産株式会社
本社所在地：大阪府大阪市北区松ヶ枝町1番3号
設立：昭和48年2月
代表者：代表取締役社長 成地 勉
事業内容：酒類・食品卸売業
資本金：6億7,000万円
売上高：1,206億7,400万円(平成25年12月期)

コーポレート・ガバナンス

● 社外取締役を設置

当社は、2014年12月19日開催の第68回定時株主総会にて、社外取締役を選任いたしました。社外取締役には、コーポレート・ガバナンスのさらなる強化を目指して、当社の属する業界にとらわれない幅広い見地から経営全般に関する客観的、中立的な立場で経営に参画していただきます。

海外事業の展開

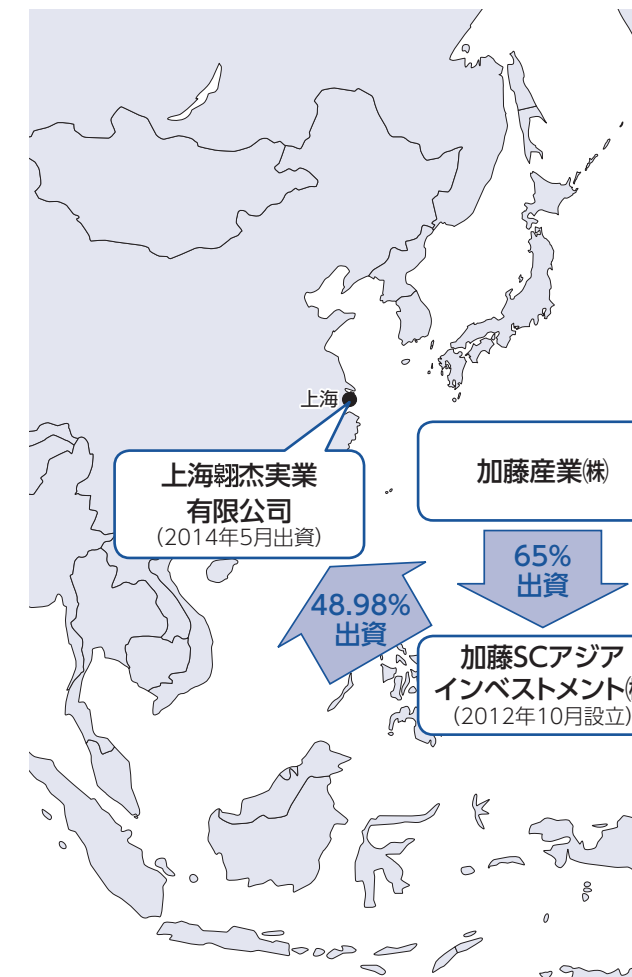
● 中国上海市の食品卸売業へ出資

2014年5月に当社の出資子会社である加藤SCアジアインベストメント(株)が、中国上海市の食品卸売事業会社である上海翱杰(アオジエ)実業有限公司へ出資いたしました。

今後、嗜好の多様化が著しい中国で、現地や日系企業であるお得意先・お取引先に日本式食品卸売業としてリテールサポートや物流機能などのサポートを行い、日系メーカーとの新規取引開始や現地企業のブランド獲得などによりビジネス基盤を拡大し、既に展開している華南地区での食品卸売業とともに上海市を含む華東地区における中国食品流通業界の高度化に寄与してまいります。

【会社の概要】

社名：上海翱杰実業有限公司
所在地：中国上海市閔行区
事業内容：飲料、食品及び日用品の卸売、輸入、輸出
資本金：19,600,000人民元(約333百万円)
出資比率：加藤SCアジアインベストメント(株)48.98%



当社は、創業以来「強い会社」を目指しています。そして今、「優しい会社」という新たなビジョンを加え、次の成長に向けて着実な一歩を歩んでいます。環境への配慮やISOへの取り組みなども含め、私たちは企業市民として、また食品中間流通業として、CSR(企業の社会的責任)活動の推進に努めます。私たちは、周囲の人々(ステークホルダー)にとって「強くて優しい会社」でありたいと考えています。

環境・社会報告書

毎年1回、環境や社会への取り組みをまとめた「環境・社会報告書」を発行し、情報開示を行っています。



●詳細データ等は、ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.katosangyo.co.jp/csr/>

太陽光発電システムを設置



☆は設置済み
 ★は2015年度設置予定



当社は、電力会社での火力発電稼働の比率低減に寄与し、日本全体のCO₂排出量削減に貢献する再生可能エネルギーである太陽光を利用するため、2014年度に6拠点の屋根に「太陽光発電システム」を設置いたしました。

2015年度は東海1拠点、九州2拠点の合計3拠点での設置を予定しております。

今後もピーク電力の削減が求められる中、太陽光発電によるピーク電力対策とCO₂排出量削減に貢献してまいります。

グリーンウッド基金

当社の従業員が自主的に行っているクリーン活動(周辺地域のボランティア清掃)を、会社が支援する仕組みで賛助金を拠出し、積み立てる「KATO グリーンウッド基金」を設立し、幅広く社会に役立てています。

<2014年度の支援先>

- 国連WFP協会
- WWFジャパン
- 日本赤十字社
- かものはしプロジェクト
- 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- その他、当社の拠点付近の社会福祉法人
- フードバンク関西
- 国境なき医師団
- 日本自然保護協会
- オレンジリボン運動



工場見学・環境学習

当社の生産部門である乾物部、上郡工場及びグループ会社の和歌山産業では、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、近隣の小学生の工場見学を受け入れています。さらに、社会学習の一環として、「ごみの分別」や「リサイクル」などに関する環境学習も併せて実施しています。今後も子どもたちに工場見学を通して「食の大切さ」「環境への取り組み」について伝えてまいります。



エコキャップ活動

当社は、ペットボトルのキャップを集め再資源化し、それにより得た売却益で発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ活動」を推進しています。活動を開始した2010年2月から2014年9月末までに62万2,906個が集まり、約724人分のワクチンを寄贈したことになります。

■エコキャップ回収からワクチン寄贈までの流れ



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

▶ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 平成26年9月30日現在	前連結会計年度 平成25年9月30日現在
資産の部		
流動資産	192,012	159,965
固定資産	91,282	81,834
有形固定資産	42,743	42,518
無形固定資産	3,759	3,941
投資その他の資産	44,779	35,374
資産合計	283,295	241,799
負債の部		
流動負債	175,415	144,235
固定負債	12,475	9,700
負債合計	187,891	153,935
純資産の部		
株主資本	85,749	81,616
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	71,872	67,738
自己株式	△863	△862
その他の包括利益累計額	7,436	4,992
その他有価証券評価差額金	6,851	4,991
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整累計額	584	—
少数株主持分	2,218	1,254
純資産合計	95,404	87,863
負債純資産合計	283,295	241,799

Point
1

資産合計

▶ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成25年10月1日 至平成26年9月30日	前連結会計年度 自平成24年10月1日 至平成25年9月30日
売上高	771,514	733,181
売上原価	718,659	682,769
売上総利益	52,854	50,412
販売費及び一般管理費	43,865	40,108
営業利益	8,989	10,303
営業外収益	1,230	1,321
営業外費用	222	270
経常利益	9,997	11,354
特別利益	206	100
特別損失	594	75
税金等調整前当期純利益	9,609	11,379
法人税、住民税及び事業税	3,273	4,236
法人税等調整額	453	△150
少数株主損益調整前当期純利益	5,882	7,293
少数株主利益	100	240
当期純利益	5,781	7,052

Point
2

経常利益

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

▶ 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当事業年度 平成26年9月30日現在	前事業年度 平成25年9月30日現在
流動資産	150,695	138,759
固定資産	79,426	75,452
有形固定資産	37,093	37,245
無形固定資産	3,674	3,850
投資その他の資産	38,658	34,356
資産合計	230,121	214,211
流動負債	134,220	124,657
固定負債	8,867	8,156
負債合計	143,087	132,814
純資産合計	87,033	81,397
負債純資産合計	230,121	214,211

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

▶ 損益計算書

(単位:百万円)

科目	当事業年度 自平成25年10月1日 至平成26年9月30日	前事業年度 自平成24年10月1日 至平成25年9月30日
売上高	606,993	578,196
売上原価	567,332	540,475
売上総利益	39,660	37,721
販売費及び一般管理費	31,633	28,548
営業利益	8,026	9,172
経常利益	9,051	10,056
当期純利益	5,555	6,271

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成25年10月1日 至平成26年9月30日	前連結会計年度 自平成24年10月1日 至平成25年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	13,322	12,490
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,087	△4,012
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,308	△2,398
現金及び現金同等物の 増減額	6,927	6,080
現金及び現金同等物の 期首残高	56,142	50,062
現金及び現金同等物の 期末残高	63,069	56,142

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

Point
1

連結貸借対照表

● 資産合計

連結範囲の変更により、前期に比べ414億95百万円増加し2,832億95百万円となりました。

Point
2

連結損益計算書

● 経常利益

売上総利益率の低下及び物流コストの増加等により、前期に比べ12.0%減少し99億97百万円となりました。

会社情報

Corporate Data

▶ 会社概要

(平成26年9月30日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	昭和22年(1947年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピョー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,000名

▶ グループ会社

(平成26年9月30日現在)

会社名	事業内容	売上高(百万円)
◎ ケイ低温フーズ(株)	低温食品卸売業	89,522
◎ 三陽物産(株)	酒類・食品卸売業	120,674
◎ ヤタニ酒販(株)	酒類・食品卸売業	66,027
◎ 九州加藤(株)	食品卸売業	5,742
◎ カトー菓子(株)	菓子卸売業	5,724
◎ エス・エイ・エスジャパン(株)	酒類・食品卸売業	6,188
○ カトー酒販(株)	酒類・食品卸売業	1,965
○ カトー農産(株)	農産物卸売業	661
○ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.	食品卸売業	—
△ 上海翺杰実業有限公司	食品卸売業	—

卸売業

▶ 役員(取締役・監査役)及び執行役員

(平成26年12月19日現在)

代表取締役社長 加藤和弥	監査役 弥谷恵太郎
専務取締役 治居義継	監査役 相良広基
専務取締役 小林隆夫	社外監査役 山村幸治
常務取締役 福島和成	社外監査役 井村公彦
常務取締役 木村敏弘	執行役員 近藤一彦
取締役 破魔重美	執行役員 岡崎忠勝
取締役 山中謙一	執行役員 打田雅俊
取締役 神月豊	執行役員 菅公博
取締役 太田尚史	執行役員 中村考直
取締役 上島浩一	執行役員 小野聡
社外取締役 宮井真千子	執行役員 日比啓介

会社名	事業内容	売上高(百万円)
◎ マンナ運輸(株)	運送業	4,549
◎ 沖縄ロジスティクス(株)	物流業務請負業	13
◎ カトーロジスティクス(株)	運送業	3,805
◎ 和歌山産業(株)	食品製造業	4,333
○ 兵庫興農(株)	食品製造業	1,365
○ (株)アドバンス・キッチン	飲食業	158
◎ 加藤不動産(株)	損害保険代理店業	225
○ 加藤SC アジアインベストメント(株)	海外事業投資業	—

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式情報

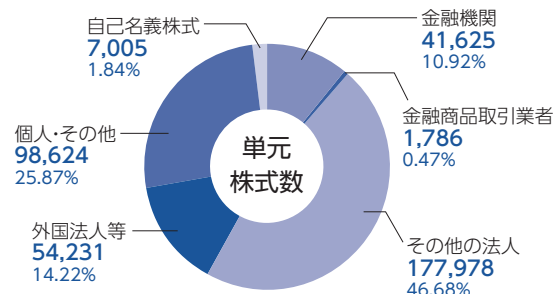
Stock Information

▶ 株式の状況

(平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,153,115株
株主数	8,542名 (内、単元株所有者数：8,233名)

所有者別分布状況



※1単元の株式数=100株

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	3,270	8.73
三井物産株式会社	3,153	8.41
三菱商事株式会社	1,787	4.77
加藤和弥	920	2.45
株式会社加藤興産	850	2.26
キューピー株式会社	841	2.24
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	770	2.05
カゴメ株式会社	731	1.95
加藤産業グループ会社従業員持株会	696	1.85

※持株比率は自己株式(700,520株)を控除して計算しております。

株主メモ

Information for Shareholders

▶ 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	T541-8502
(お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
	三菱UFJ信託銀行株式会社
	大阪証券代行部
	電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。